

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	健康・体力づくり実習		
英文授業科目名	Practice of Health and Physical Fitness Promotion		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-健康・スポーツ科学科目-		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	大鋸、岡田、北川、北		
居室	東1-403(大鋸)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oga@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>a) : 主題 心身ともに健全な活力を養うためには、運動やスポーツを生活の一部に取り入れることが大切である。青年期に健康・体力に関する正しい知識を習得し、自己の健康維持や体力向上のための実践を身につけることは、生涯にわたる健康・体力の維持・向上に不可欠なことである。本実習では、健康への意識を高め、総合的な体力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>(b) : 達成目標 体力テストを実施し、その結果から各自が現在の自己の体力を見据え、健康に留意して体力づくりを実践できるようになること、また、スポーツ種目の実践を通じて、他者とのコミュニケーション能力を養うことをねらいとする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
参考書：健康論（道和書院）

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業は主として、多摩川運動場にて行なう。サッカー（担当：岡田 英孝）、ソフトボール（担当：北川 幸夫）、ニュースポーツ（担当：北 徹郎）、硬式テニス（担当：大鋸 順）などの種目をベースに展開し、体力の回復・向上を意図したエクササイズ（補強運動、ランニング等）を取り入れる。また、体力テストをもとに、自己の体力を分析・診断し、健康・体力の向上のための理論や実践方法について学習する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)：評価方法

本授業は実習であり、授業への参加が重視される。評価は授業への参加状況、スポーツ・運動への取り組み、健康・体力向上への取り組み、他者とのコミュニケーションへの取り組みなどで行なう。

(b)：評価基準

授業への参加状況（50%）、スポーツ・運動への取り組み（20%）、健康・体力向上への取り組み（レポート評価を含む）（20%）、他者とのコミュニケーションへの取り組み（10%）とし、総合的に評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

健康・スポーツ科学部会事務室（東1-402）に連絡のこと。

【学生へのメッセージ】

健康や体調に留意して、全出席することを期待する。

【その他】